

Ⅱ. 本校の基本的な考え方～グランドデザインから～

子どもたちが学び育つ場は「学校」だけではない。子どもたちの世界は、家庭に地域に、いわゆる習い事などにも広がっており、さらには、バーチャルの世界へも広がっているのが実際である。子どもたちは一人ひとりがそんな世界と関わる中で心と体を育み、学ぶ力や社会性を身につけていく。つまり、「学校」は、子どもたちの世界の一部でしかないということである。

そんな子どもたちの成長の場の一部分である「学校」で、私たち「教師」には何ができるのか。それは、子どもたちに規則を与え守らせ、学ぶべきことを陳列し習得させることではない。「子ども」は何かを「させられる」存在ではない。「子ども」とは、子ども自身が「どうなりたいのか」、「何をしたいのか」、「そのためにはどうすればよいのか」を考え、悩み、意思決定を繰り返して自己実現していく存在である。そして、そんな彼らの育ちを支えることが「教師」の役割だと捉えている。

具体的には、授業づくりや学級経営、学校全体での行事などを子どもたちが見ている世界から捉えて、どのように学びたいか、どのように生活したいか、どのような運動会やわくわくハイクにしたいかといったことを子どもたちと一緒に悩みながら、子どもたちと一緒につくっていくということになる。なぜなら「学校」は子どもたちのものであり、「教師」は子どもたちの自己実現のためにそこにいるからだ。

本校の学校教育目標は「心豊かに 自分らしく 生きる子どもの育成」である。そこには、子ども一人ひとりに、日々、「自分らしさを発揮し、笑顔で学校生活を送ってほしい」という願いを込めている。過去から現在、そして未来へと繋がる人生をつくっているのは、紛れもなく自分自身である。毎日を自分らしく生きていく積み重ねこそが、その子どもにとって、楽しく、価値ある人生を創造していくことになる。

「自分らしさ」を磨き上げ自己の存在への自信を深めるとともに、「心の豊かさ」を高め、周囲の「ひと・もの・こと」に存在への感謝の心を育むことを相乗的に高めていくことをめざしている。

1年生から6年生のすべての子どもたちが「心の豊かさ」と「自分らしさ」を身につけていけるように、「校長先生からの問いかけ」を子どもたちに示している。

「『ありがとう』が言える素直な心を持っていますか？」「自分らしさを大切にまっすぐ進んでいますか？」という2つの問いをきっかけに、自分のよいところを見つけたり、素敵な自分を好きになったりするような場面を設け、意図的に「自分らしさ」の意味を考える機会を位置づけている。これらの積み重ねによって、子どもたちが少しずつ「自分らしさ」を表出しながら自らの生活を楽しんでいくことを願っている。

本校の合言葉は「ひびき合う 三の丸の子どもたち」である。教職員の共通理解はもちろんだが、子どもたちと一緒に「ひびき合う姿」をイメージできるようにしている。「ひびき合う姿」とは、「みんなで関わり合いながら、よりよいものをめざし、

よりよいものを築き上げていく姿」である。子どもたちは解決したい問題と出会えば、自ずと互いの考えを言葉でつないだり重ね合わせたりしながら、それぞれの考えを深め合って、全力で問題解決にあたる。それは、学習場面に矮小化されるものではなく、学級活動や異学年での活動、あるいは学校生活全般に広がるものと捉えている。そのために、本校では、「子どもの心に寄り添った学級経営」「子どもの思考に寄り添った学習」「子どもの成長に寄り添った健康教育」を取組の重点として学校教育目標の具現化をめざしているところである。

(グランドデザインは裏面参照)

《小田原市が目指す子ども像》 未来を創るたくましい子ども

『地域ぐるみで子どもを育てます』『互いに信頼しあえる関係を築きます』『子どもの命を最優先に守ります』

めざす学校の姿

子どもにとって「笑顔で安心して学べる学校」

地域・保護者にとって「信頼できる学校」

教職員にとって「働きがいのある学校」

学校教育目標

心豊かに 自分らしく 生きる子どもの育成

めざす子どもの姿

校長先生からの問いかけ

「ありがとう」が言える
素直な心を持っていますか？
自分らしさを大切に
まっすぐ進んでいますか？

「感謝」と「らしさ」

学ぶ力

主体的に思考し、
共に深め合い、
自己を磨く賢い子

「思考」と「行為」

豊かな心

自らを律しつつ、
よりよい関係を築
く信頼される子

「信頼」と「自律」

健やかな体

安心して、生活や
運動を楽しむ健や
かな子

「安心」と「成長」

合言葉

ひびき合う 三の丸の子どもたち

学習の場において
考えを深め合う三の丸の子どもたち

学級・異年齢集団の場において
信頼感を高め合う三の丸の子どもたち

健康に関する活動の場において
成長を認め合う三の丸の子ども
たち

取組の重点

子どもの思考に寄り添った学習

- ① 子どもがひびき合う授業
- ② 地域で・地域を・地域から学ぶ
- ③ 問題解決的な学習
- ④ 思考の日常化
- ⑤ 学びの行為化

子どもの心に寄り添った学級経営

- ① 個に応じた支援
- ② いじめ・不登校への早期取組
- ③ 自治的な活動の活性化
- ④ 異年齢の交流活動
- ⑤ 特別の教科「道徳」

子どもの成長に寄り添った健康教育

- ① 体を動かすことの楽しさを学ぶ
- ② 安心して生活や運動を楽しめる環境
- ③ 防災・防犯・交通安全教育
- ④ 食育

学校運営・地域連携（学校運営協議会の導入）

- ①職員研修の充実
- ②ボランティアの積極的な活用
- ③HP等による情報発信の充実
- ④学校運営効率化により児童との時間を確保